



## (I) 日本人の世界観

### ■ 日本文化の原点 資料集 32-33

日本は農耕を中心とした社会を営んできており、自然の脅威を謙虚に受け入れ一体化する暮らしを育んできた。

[1] ] 「日本人の国民性は受容的で忍従的である」(『風土』)

気候風土が人間の精神構造を規定すると考え、世界の文化を3つに類型化した。

モンスーン型：暑熱・湿気・暴威 / 受容的・忍従的 / 東アジア・日本

砂漠型：乾燥 / 対抗的・戦闘的 / 西アジア

牧場型：湿潤と乾燥 / 合理的・規則的 / ヨーロッパ



古代の日本人

自然界の事物や現象には霊力が備わっていると信じ、神として崇めた

= [2] ] ↳ [3] ]

キリスト教や仏教のように特別な存在を神と崇めるのではなく、自然の生命力がそのまま世界を成り立たせていると考えられた。

神々の意にかなうためには汚い心を捨て、偽りのない純粋な心を保つことが重要！ = [4] ]

日本人精神の原点

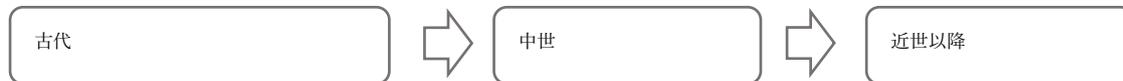
・共同体を危険にさらす行い = ツミ ⇒ 呪術的な力で取り除く = [5] ]  
・汚れた心をもたらすもの = ケガレ ⇒ 水で清める = [6] ]

以上のような、カミ信仰に基づく儀礼が、日本の民族宗教である**神道**を形作っていく

[7] ]：日本の政治学者・思想史研究者

**日本人の歴史意識** → 「**つぎつぎに・なりゆく・いきおい**」という考え方がベース

あらゆるものは自然と作り出される。雄大な自然と一体化するために**心情の純粋さ**を重視してきた。



※一方で、自然に任せる態度のせいで「他人任せ」「なりゆきまかせ」になってしまう恐れもある。

→ [8] ]と呼んで批判

### Column 日本を作った神様

日本全国には約8万の神社があり、祭神もさまざま。その中で最も多いのは、神話の神々である。主に8世紀に編纂された「古事記」「日本書紀」などが伝えている。例えば国を産んだ夫婦神といえは[ ]と[ ]であり、彼らの矛から島が作られたという。そしてその夫婦から生まれた[ ]は日本神話の最高神となる太陽神である。この神様が祀られている神社が[9] ]で、新年には首相が参拝にみえるほど日本を代表する神社となっている。ちなみに、神話で彼女が関わる3つの宝物(八咫鏡・八尺瓊勾玉・草薙剣)は、現在も天皇家に伝わる三種の神器であり、そのうち草薙剣は[10] ]に祀られている。[9]に次ぐ国家鎮護の神宮として、崇敬を集めている。

■ 日本人の生涯

日本には四季があり、その文化を大切にしている。毎年同じ季節に開かれる祭りもその一例。また、成長段階においても、特定の年代で行う儀式や年祝いがあり、人生の節目を大切にしている。それらの儀式は仏教や神道の宗教的背景をもつものが多く、無意識のうちに宗教に触れているということになる。

Quiz  年祝いの儀式…それぞれ何という？

年祝いとは、長寿を迎えた方を祝う行事。一般的には 60 歳以上の方に対して行われるが、祝宴に合わせて祝儀や贈り物を用意して、その方の長い人生を讃え、祝福する。

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| (1) 61 歳 → [            ] | (4) 88 歳 → [            ]  |
| (2) 77 歳 → [            ] | (5) 99 歳 → [            ]  |
| (3) 80 歳 → [            ] | (6) 100 歳 → [            ] |

■ 日本人の生活と信仰

日本では無宗教の人が多いと言われるが、お盆や七五三など宗教的な背景をもつ行事で溢れている

- ・ [11                    ] : 1 年の決まった時期に行われる伝承行事      例)→
- ・ [12                    ] : 人生の節目に行われる儀式                      例)→

日常的な [13            ] の行事 ⇔ 非日常的な [14            ] の行事      農耕生活を営む人に季節の変化に応じて生活のリズムを与える  
特別な日で晴れ着や料理で祝う

Think  日本人はなぜ特定の宗教が根付かなかったのか？

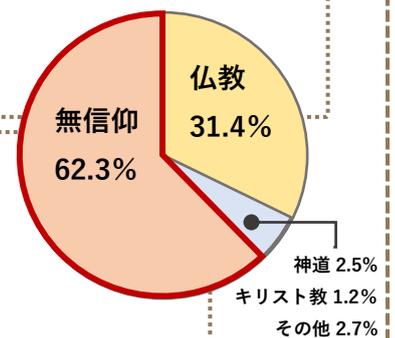
2018 年の調査では、日本人が信仰している宗教は以下の通りとなっている。

神仏に拝む頻度や宗教に癒しを求める人が減少傾向にあるが、日本人に宗教が根付かないのはなぜか？

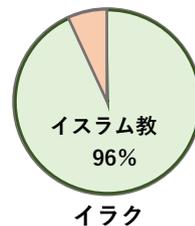
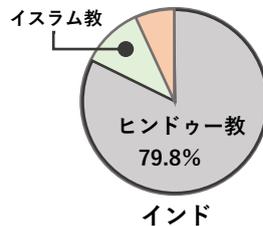
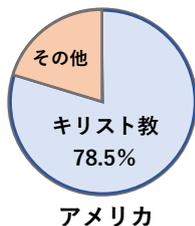
自分の考え

他者の考え

- ・
- ・
- ・
- ・



cf. 他国の事例





## (I) 日本人の世界観

### ■ 日本文化の原点 資料集 32-33

日本は農耕を中心とした社会を営んできており、自然の脅威を謙虚に受け入れ一体化する暮らしを育んできた。

[1] **和辻哲郎** ] 「日本人の国民性は受容的で忍従的である」(『風土』)

気候風土が人間の精神構造を規定すると考え、世界の文化を3つに類型化した。

モンスーン型：暑熱・湿気・暴威 / 受容的・忍従的 / 東アジア・日本

砂漠型：乾燥 / 対抗的・戦闘的 / 西アジア

牧場型：湿潤と乾燥 / 合理的・規則的 / ヨーロッパ



古代の日本人

自然界の事物や現象には霊力が備わっていると信じ、神として崇めた

= [2] **アニミズム** ]

↳ [3] **八百万神** ]

キリスト教や仏教のように特別な存在を神と崇めるのではなく、自然の生命力がそのまま世界を成り立たせていると考えられた。

日本人精神の原点

神々の意にかなうためには汚い心を捨て、偽りのない純粋な心を保つことが重要! = [4] **清き明き心** ]

・共同体を危険にさらす行い = ツミ

呪術的な力で取り除く = [5] **はらい(祓)** ]

・汚れた心をもたらすもの = ケガレ

水で清める = [6] **みそぎ(禊)** ]

以上のような、カミ信仰に基づく儀礼が、日本の民族宗教である**神道**を形作っていく

[7] **丸山真男** ]：日本の政治学者・思想史研究者

日本人の歴史意識 → 「つぎつぎに・なりゆく・いきおい」という考え方がベース

あらゆるものは自然と作り出される。雄大な自然と一体化するために**心情の純粋さ**を重視してきた。

古代 **清き明き心**

中世 **正直(せいちよく)**

近世以降 **誠**

※一方で、自然に任せる態度のせいで「他人任せ」「なりゆきまかせ」になってしまう恐れもある。

→ [8] **無責任の体系** ]と呼んで批判

### Column 日本を作った神様

日本全国には約8万の神社があり、祭神もさまざま。その中で最も多いのは、神話の神々である。主に8世紀に編纂された「古事記」「日本書紀」などが伝えている。例えば国を産んだ夫婦神といえは[ **イザナギ** ]と[ **イザナミ** ]であり、彼らの矛から島が作られたという。そしてその夫婦から生まれた[ **アマテラス** ]は日本神話の最高神となる太陽神である。この神様が祀られている神社が[9] **伊勢神宮** ]で、新年には首相が参拝にみえるほど日本を代表する神社となっている。ちなみに、神話で彼女が関わる3つの宝物(八咫鏡・八尺瓊勾玉・草薙剣)は、現在も天皇家に伝わる三種の神器であり、そのうち草薙剣は[10] **熱田神宮** ]に祀られている。[9]に次ぐ国家鎮護の神宮として、崇敬を集めている。

■ 日本人の生涯

日本には四季があり、その文化を大切にしている。毎年同じ季節に開かれる祭りもその一例。また、成長段階においても、特定の年代で行う儀式や年祝いがあり、人生の節目を大切にしている。それらの儀式は仏教や神道の宗教的背景をもつものが多く、無意識のうちに宗教に触れているということになる。

Quiz 年祝いの儀式…それぞれ何という？

年祝いとは、長寿を迎えた方を祝う行事。一般的には 60 歳以上の方に対して行われるが、祝宴に合わせて祝儀や贈り物を用意して、その方の長い人生を讃え、祝福する。

- (1) 61 歳 → [ 還暦 ]
- (2) 77 歳 → [ 喜寿 ] 旧字の菟より
- (3) 80 歳 → [ 傘寿 ] 傘の一部より
- (4) 88 歳 → [ 米寿 ] 八十八
- (5) 99 歳 → [ 白寿 ] 百から一をとる
- (6) 100 歳 → [ 百寿 ]

■ 日本人の生活と信仰

日本では無宗教の人が多いと言われるが、お盆や七五三など宗教的な背景をもつ行事で溢れている

- ・ [11 年中行事 ] : 1 年の決まった時期に行われる伝承行事 例) → 正月・節分・端午の節句・七夕
- ・ [12 通過儀礼 ] : 人生の節目に行われる儀式 例) → 年祝い・結婚・葬儀・七五三・成人式

日常的な [13 ケ ] の行事 ⇔ 非日常的な [14 ハレ ] の行事 農耕生活を営む人に季節の変化に応じて生活のリズムを与える特別な日で晴れ着や料理で祝う

Think 日本人はなぜ特定の宗教が根付かなかったのか？

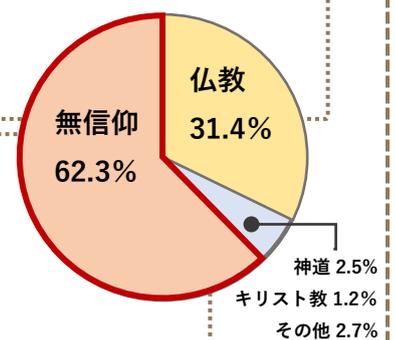
2018 年の調査では、日本人が信仰している宗教は以下の通りとなっている。

神仏に拝む頻度や宗教に癒しを求める人が減少傾向にあるが、日本人に宗教が根付かないのはなぜか？

自分の考え

他者の考え

- ・安定した暮らしの中で、宗教に頼る必要がない
- ・神道(天皇)が中心の日本が、仏教を寛大に受け入れた歴史があるように、1つの宗教に対するこだわりが薄いのではないか
- ・宗教を狭く捉えているだけであり、初詣やお盆など自然に信仰心が宿っている
- ・戦前の国家神道政策や、カルト教団による事件などから、熱心に信仰することや新興宗教に抵抗感がある
- ・八百万の神を信仰してきた時代背景の中で、1つの神を熱心に信仰する土台がない



cf. 他国の事例

